

# 事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	せきれい関係事業			事業コード	154
所属コード	046700	課等名	市民協働推進課	係名	地域活動係
課長名	岡市 和敏	担当者名	熊野 颯太	内線番号	2118
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

(1) 概要 (旧総合計画体系における位置づけ)

総合計画 体系 (旧)	施策の柱	心つながる相互理解	コード	3
	施策	元気な地域コミュニティ活動の推進	コード	1
	基本事業	コミュニティ活動の促進	コード	1
予算費目名 (H26)	一般会計 2 款 1 項 8 目せきれい関係事業 (002-01)			
特記事項 (H26)				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 48 年度	
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

町内会や市民運動団体が自主的に行う研修を目的とした活動に、地域活動バス「せきれい」号を貸し出す。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

地域活動バス「せきれい」号は、昭和 48 年 10 月から巡回相談車として運行していたが、昭和 51 年から町内会や市民運動団体等の活動に貸し出している。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

町内会が自主的に行う研修を目的とした活動に、行政がバスを貸し出す事業は全国でもほとんど見られない独自のものである。町内会等のほかに地域に密着したサークルや市民運動団体などからの利用申請もあるが、利用者は固定化し減少している。

平成 25 年度にバスを更新,平成 26 年より第二土曜日を運航日に追加し,運行範囲の拡大を検討している。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

町内会, 市民運動団体等

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 見込み	26年度 実績
A 人口	人	298,853	299,220	299,585	299,585	298,857
B						
C						

(3) 26年度に実施した主な活動・手順

地域活動バス「せきれい」号の貸し出し

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標値	26年度 実績
A 地域活動バス「せきれい」号の運行日数	日	90	85	72	80	87
B						
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

地域活動の活性化につなげ、あたたかくふれあいのある地域社会づくりを推進する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標値	26年度 実績
A 利用者	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	人	2,502	2,447	2064	2,400	2,331
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 計画	26年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円	796	900	959	752	704

	⑤その他( )	千円					
	A 小計 ①～⑤	千円					
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	530	530	959	1000	1013
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	2,120	2,120	3,836	4,000	4,052
計	トータルコスト A+B	千円	2,916	3,020	2,220	4,752	4,756
備考							

### 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

#### (1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

##### ① 施策体系との整合性

コミュニティ活動の活性化を促進しているため、整合性がある。

##### ② 市の関与の妥当性

市民協働を進めるうえでコミュニティ活動の活性化は重要であり、その活動の支援が必要であるため、妥当である。

##### ③ 対象の妥当性

コミュニティ活動の支援という事業目的を充足しているため、現状で妥当である。

##### ④ 廃止・休止の影響

利用者が民間のバスを借り上げることが考えられるが、費用が生じるため、地域活動を推進していく上での負担となる。よって、廃止した場合影響がある。

#### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

平成 25 年度にバスを更新を図ったが、利用目的を市政見学会や地域の学習活動等に限定して貸し出しを行っていることや、燃料費の値上がり等により運行回数の増加は難しい。

#### (3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

利用申し込みを公開抽選としているほか、同一団体の抽選会参加も年度内 1 回に限定している。地域コミュニティ活動の促進を目的とし、町内会、市民運動団体等地域活動団体を対象としており、受益機会は適正である。

#### (4) 効率性評価

バス 1 台で運行していることから、人員削減は不可能である。

#### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

##### (1) 概要 (新しい総合計画体系における位置付け)

総合計画 体系 (新)	施策 (方針)	地域コミュニティの維持・活性化	コード	9
	小施策 (推進項目)	コミュニティ活動の支援	コード	9-1

##### (2) 改革改善の方向性

平成 25 年度に国からの地域の元気臨時交付金により、バスを更新した。  
平成 26 年度に第 2 土曜日を運行日に追加し、運行範囲を県内全域に拡大した。  
これからは、玉山区を参考として民間委託も含めた事業の見直しを検討する必要がある。

##### (3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

バス運行を民間委託することが考えられるが、現状ではコスト削減に結び付かない。

#### 5 課長意見 . . . . .

##### (1) 今後の方向性

- 現状維持 (従来どおりで特に改革改善をしない)
- 改革改善を行う (事業の統廃合・連携を含む)
- 終了・廃止・休止

##### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

当面の間は直営方式を継続するが、必要に応じて委託方式も検討していく。